

日中戦争からアジア・太平洋戦争へ

—戦場の実態にもふれつつ—

講師

よしだ ゆたか
吉田 裕 氏

一橋大学大学院社会学研究科特任教授

○主要研究領域：日本近現代政治史、日本近現代軍事史

○著書：『日本軍兵士』（中央公論新社）

『アジア・太平洋戦争』（岩波新書）

『日本人の戦争観』（岩波現代文庫）他多数



日時

平成30年

10月21日(日)

13:30~15:00(受付13:00~)

会場

滋賀県平和祈念館 2階研修室

(東近江市下中野町431番地)

参加無料

先着80名

(事前申込制)

お申込み・お問い合わせ

TEL 0749-46-0300

FAX 0749-46-0350

MAIL heiwa@pref.shiga.lg.jp

- ・定員は80名です(申し込み先着順)
- ・お申し込みは、電話、ファックス、メールでお願いします。
お名前、お電話番号、ご住所をお知らせください。
- ・定員になり次第、申し込み受付を終了いたします。

講演概要

日中戦争とアジア・太平洋戦争(いわゆる太平洋戦争)とは全く別の戦争ではありません。この2つの戦争が連続した密接不可分な戦争であったことをさまざまな面から明らかにし、あわせてアジア・太平洋戦争の苛酷で凄惨な戦場の実態にもふれてご講義いただきます。

吉田先生からのメッセージ

毎年めぐってくる8月15日の終戦記念日。全国戦没者追悼式の会場では、「先の大戦」という言葉がよく使われますが、「先の大戦」とはどの戦争のことを指しているのでしょうか。終戦記念日の開催を決めた閣議決定では、追悼の対象は日中戦争以降のすべての戦没者となっています。しかし、実際には「先の大戦」という時、多くの国民がまず思い浮かべるのはアジア・太平洋戦争のことではないでしょうか。この講演では歴史の中に埋もれがちな日中戦争とアジア・太平洋戦争の関係を考えます。

平和学習講座 参加申込書

日中戦争からアジア・太平洋戦争へ －戦場の実態にもふれつつ－

10月21日(日)開催の平和学習講座に()名で参加します

お名前(代表者)

ご住所

お電話番号

滋賀県平和祈念館

FAX 番号 **0749-46-0350**

おかけ間違いのないようにお願いします

戦争体験を聞く会のご案内

10月14日(日) 13:30 ~
東近江市在住 鶴房 正三さん(昭和3年生まれ)
「海軍航空技術廠での徴用体験や
津の空襲の様子」

11月11日(日) 13:30 ~
大津市在住 東郷 正文さん(昭和12年生まれ)
「上田上での日本機墜落を目撃
～焼夷弾投下の当時の様子～

映画上映会のご案内

10月28日(日) 13:30 ~
タイトル「父と暮らせば」
原爆投下から3年後の広島。愛する人々を原爆で失った美津江は、自分が生き残ったことに負い目を感じていた。そんなとき、目の前に父・武造の幽霊が現れる…。

11月25日(日) 13:30 ~
タイトル「人間の翼」
昭和20年、出撃の朝、最後のキャッチボールで進一の投げた10球はすべてスライクだった…。特攻に散ったプロ野球名投手、名古屋軍のE-5石丸進一の、短くも光輝いた青春の日々を描く。

地域交流室展示のご案内

○戦時中の体験
触れる 感じる そして考える
9月5日(水)～12月24日(月)

滋賀県平和祈念館へのアクセス



- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
- JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

吉田先生の平和学習講座

○印刷

- ① 紙質はコート紙90kg
- ② サイズはA4版・カラー業者印刷（業者にデータわたし）

○印刷数・配布先

- ・別紙 一覧により 各所 20枚 × 142か所 2840枚
- ・ボランティア 64枚
- ・館内 500枚
- ・予備 96枚

3500枚